健康経営の理解深め

橿原商議所セミナー　取り組みなど説明

橿原商工会議所の「健康経営セミナー」（アクサ生命保険奈良営業所、全国健康保険協会奈良支部共催）が8日、橿原市内膳町1丁目の市役所分庁舎ミグランスで開かれた。健康経営に関心のある企業経営者、担当者ら約100人が参加し、専門家の講演などで見識を深めた。

同会議所と橿原市、アクサ生命保険は2023年10月、健康経営の普及促進と健康増進に関する協定を締結。人材の確保と定着、生産性と企業イメージ向上にも有効とされる健康経営への理解を深めてもらう目的で初めて開いた。

セミナーではまず、「健康経営優良法人ブライト500」の認定を23、24年の2年連続で受けた、五條メディカル（橿原市）の原田杏子代表が「健康経営がもたらす調和と利益」で講演した。原田代表は、健康経営が物心両面での幸せを追求する国策であることを紹介。ブライト500取得のための手順、支援の受け方などを自社の例を交えて紹介しつつ、取得を目指す意義をしっかり認識し、新規事業として取り組む重要性を強調した。

その上で、自社で行っている糖質、塩分に配慮した社食の提供や休憩スペースの設置といった健康経営の実践例をはじめ、取り組みに対する社員の関心、積極性を引き出す工夫、各社で異なる目標設定での要点などを説明。「一人の社員の健康が会社の健康となり、地域、国の健康につながっていく。健康経営で生きた事業、より良い未来を共に築いていければ」と呼びかけた。

このあと全国健康保険協会奈良支部とアクサ生命保険奈良営業所の担当者が、健康経営優良法人認定のメリットや認定取得に向けた支援体制、健康増進を職場で実現するメニューなどを紹介した。

自社の健康経営などについて語る原田氏＝8日、橿原市内膳町1のミグランス

令和６（2024）年７月９日付　奈良新聞